

彦名通信

2022

3

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE

vol.206

ご卒業おめでとうございます



デザコン受賞者 米子市長表敬訪問



校長室でのデザコン受賞報告



高専祭(体育の部)の様子

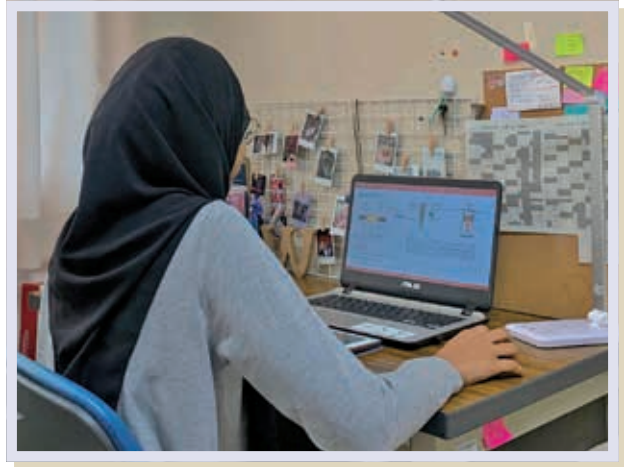
Index

卒業・修了特集

5年機械工学科	2	求人・進路状況・資格試験合格者	9	としよぶらり	15 ~ 18
5年電気情報工学科	3	進路研究セミナー・高専祭(体育の部)	10	卒業生は今(vol.26)	19
5年電子制御工学科	4	デザコン4連覇+鳥取県学生コンテスト(建築)	11	時間割・バスダイヤの変更・通学支援の案内など	20
5年物質工学科	5	学生表彰・スポーツ協会表彰・高専GCON2021			
5年建築学科	6	入選報告(B&C)	12		
専攻科2年	7	各種大会成績一覧・フェイス先生の講義・オンライン留学			
求人・進路状況	8	KOSENフォーラムオーガナイズドセッション	13		
		高専女子フォーラム・SDGsへの取り組み	14		

■ 5M 担任 矢 壁 正 樹

4年生、5年生の間は、遠隔授業中や夏休み期間の登校停止、制限された部活動、お客さんの居ない高専祭など新型コロナの影響が数多くあり、今までに無い心身にわたる苦労があった事と思います。そのような状況下でも、変わらず真面目に学業に励んでくれた学生諸君には拍手喝采を送りたいと思います。しばらくは困難な状況が続くかもしれませんが、春からは心機一転して、それぞれの場所で、それぞれの目標に向かって頑張ってください。最後になりましたが、本校の教育に対して、ご理解とご協力を賜り、卒業生を支えてこられた保護者の方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



オンライン卒業研究発表会の様子

5M 安 達 稜 真

高専5年間は、自分にとって非常に勉強になるものでした。印象に残っているのは、5年間を通して行った実験実習と設計製図の授業です。実験実習では、初めて扱う機械に慣れず苦勞しました。加工するために部品の図面を読み取ることの難しさや図面通りに加工する大変さを実感しました。また設計製図の授業では、加工者に伝わりやすいような図面の作成、部品がどのようにして加工されるのかイメージして設計を行うことの難しさなどを学びました。卒業後、私は長岡技術科学大学に進学し、より専門的な知識を深めたいと思います。

5M 中 西 啓 太

5年間、気づけばあっという間に過ぎていきました。しかし、その5年間はとても濃いものとなりました。入学したころは機械のことなど何も分からなかった自分、友達ができるか不安だった自分が、友達と一緒に卒業できることに正直びっくりしています。課題やテストを必死にこなしたこと、高専祭で友達と一緒に回ったこと、ラジオや曲を作ったこと、どれも忘れられない思い出です。米子高専で学んだ知識、得られた経験はかけがえのないものです。これらを活かして新たなステージでも頑張りたいです。

最後に、両親や先生をはじめ私たちを支えて下さった皆さん、本当にありがとうございました。そして5Mの皆さん、本当にお疲れ様でした。

■ 5E担任 宮田 仁志

ご卒業おめでとうございます。今年は進路の事に関連して色々な事を考えたと思います。家族の事、友人の事、自分自身の事……。それは自分が他者との関わりの中で生きているという証です。皆さんは高専入学が縁で、友人や先生など、たくさんの人と関わるようになりました。これからも何かの縁で様々な人達と関わるでしょう。悩みに悩んで結論を出した春からの進路も何かの縁です。これからもこの「縁」を大切にしてください。今から800年近く前、親鸞が「有縁を度す」という言葉を残しています。今縁がある人、身近な人を大切にするという意味です。高専での縁を大切にしてきたように、新生活でも、新しい縁を大切にしてください。



5年目の青春



予餞会

5E 田中 透真

僕卒業できるのかな？と、たびたび考えた5年間でした。僕は電気情報工学科に入学し、個性豊かなクラスメイトや寮生の仲間とともに充実した毎日を過ごすことが出来ました。授業毎に出される課題やレポートの量は半端なく、思わず叫びたい気分でした。何とか5年生まで進級し、高専生活もおそらく終わりを迎えようとしています。

今まで支えてくれた両親や、先生方、先輩・後輩など周りの人に恵まれて、この高専を卒業できることを誇りに思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

春から僕は社会人として企業で働きます。高専で5年間吸収した沢山のことをバシバシ発揮していきたいと思います。最後に、皆さんに負けないように僕もこれから精一杯頑張ります。ありがとうございました。



僕達寮生です

5E 升田 乃愛

私は入学当初から放送部に所属し、沢山の映画やドラマを撮影してきました。皆で作った脚本で演技をし、撮影をし、編集をする。全ての作業があつてこそ1つの作品が仕上がります。完成時の達成感が大きく放送部で良かったと何度も思えました。米子市から声をかけて頂いたPR動画の撮影活動を通して米子市の良い所に沢山触れることが出来、とても良い経験になりました。

長い高専生活、つまずいたこともあったけど沢山の友達に支えてもらい、ここまで来ることが出来ました。切磋琢磨した放送部の仲間、研究室やクラスの皆、お世話になった先生方、そして私の挑戦を止めず応援してくれた両親。全てに感謝を伝えたいです。

本当にありがとうございました。



Nコン全国大会

■5D担任 河野清尊

5年生諸君、卒業おめでとう！！この1年も新型コロナウイルスに振り回されました。このような状況の中で苦労も多かったですが、それぞれが進路を決めることができました。よく頑張りました。ありがとう。

最後の話をしよう。最近、ウェルビーイング(well being)という言葉をよく耳にするようになりました。「持続可能な幸福感」と訳されるようです。お金や社会的地位のような他人との比較によって生じる幸福感・ハッピー(happy)は短期的なものなのかも知れません。これに対して、健康、家族、趣味などは、誰かと比べて得るものではなく長続きます。小さくても確かな、一過性でなく、しみじみと長く噛み締めることができる、そして世の中のためにもなる、そんな幸せを見つけて豊かな人生を歩みたいものです。また逢える日を楽しみにしています。みんな元気です！



5D 佐々木 颯太

高専生活を振り返ってみると、多くの仲間に恵まれ勉強や課外活動を通して成長できた5年間でした。入学当初は授業やクラスに馴染んでいけるのだろうかと不安でしたが、高専祭、実験実習、卒業研究、辛いテスト期間を通してみんなと切磋琢磨しながら乗り越えていけました。どの出来事も楽しい思い出ですが、実験実習や専門科目の課題は難しく遅くまで学校に残ることも多々あり大変でした。しかし、「高専」という普通高校では学べない専門知識と同じ志の仲間ができ高専に入ってよかったと思っています。

最後に、5年間支えてくださった家族、友人、先生方、本当にありがとうございました。高専で学んだ経験を糧にして春から新しいステージで頑張ります。



5D 村上 理子

本校での5年間は学業や課外活動を通して様々な経験ができたと思います。学業では、1年生から学んだ基礎知識や専門知識を用いて、卒業研究等の専門分野での活動に活かすことができました。また、3年生の時にアイルランドへ留学に行きました。ホームステイや語学学校を通して、様々な国の方と交流したり、語学や文化を現地で実際に学んだり、体験したりすることができてとても貴重な経験になりました。

卒業後は就職するため、社会人として高専生活で学んだこと活かして社会に貢献できるように頑張っていきたいと思います。5年間ありがとうございました。



5C担任 田中 晋

皆さん、ご卒業おめでとうございます！休校&遠隔授業から始まった4年生から担任をさせてもらい、対面授業が再開してもずっとマスク生活のまま、とうとう卒業となってしまいました。学校行事もインターシップも就活も、思い描いていた形とは程遠い状況だったと思います。しかし、そんな中でも楽しく学生生活を送り、勉強や研究へ前向きに取り組んでくれた姿を心強く思っていました。5年間学級委員だった井上君を中心にクラス運営へ積極的に取組み、協調性の高いクラスだったことが印象的です。新しい環境では、目標に向かって挑戦することを忘れずに突き進んでください。大きく成長した姿にマスクなしで出会える未来を楽しみにしています。



卒業研究発表会会場(米子コンベンションセンター)での集合写真

5C 井上 恋

入学してから月日が経ち、気づけば旅立ちの季節が訪れました。この5年間はあっという間で、入学式の時の不安と期待に胸を膨らませていた私を今でも覚えています。いろいろなことがあった5年物質工学科を一言で表すと初志貫徹だと思います。文化祭では食い違った意見でぶつかり合ってクラスの雰囲気が悪くなる時もありましたが、成功させる目標だけを考え、最後までくじけずに貫いて達成することができたことがすごくうれしかったです。

寂しくなりますがこれからはそれぞれの道に向かって歩き始めなければなりません。高専で習った事を活かし、これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れずに頑張りましょう！5年間ありがとう！

5C 倉敷 馨子

1年生の大山オリエンテーション、自己紹介が嫌で最初は行きたくなかったけど、終わってみると本当に行ってもよかったと思えました。2年生の企業訪問、高専卒業後の進路についてまだピンときませんでした。3年生の京都・大阪企業訪問、都会の雰囲気圧倒され体調を崩し友人に心配をかけました。4年生のレポートの嵐、あの苦勞を乗り越えたことで絆が深まったと今では言えます。5年生の卒業研究、こんなにカニについて考えることは後にも先にもないと思います。これらの経験は私1人ではできませんでした。今は別の道で頑張っている学生や新しく加わった学生を含めたクラスメイト、先生方、保護者、関係者各位の皆様、ありがとうございました。



研究の概要を3分間で口頭発表



研究の詳細をポスター発表

■ 5A担任 稲 田 祐 二

高専生活の後半2年間は、新型コロナウイルス感染症のため様々な制約のもとでの学生生活だったと思いますが、反面このような困難な状況は君たちをより強靱に成長させたに違いありません。環境問題、社会経済活動は益々地球規模で進展しているにも関わらず、国際社会は一致した対応がとれないでいます。Gゼロ世界の秩序を制御する新たな仕組の出現が待たれるところです。一方、国内に目を向けると人口減少と超高齢時代が進行すると同時に産業構造が大きく変化しており、経済成長力や企業の国際競争力は低迷しています。このような状況を打破するため、時代は今こそ高専卒業生の挑戦を待ち望んでいるのです。米子高専マインドを身につけた諸君の今後の飛躍に期待します。卒業おめでとう！



5A 藤 井 光

5年建築学科の皆さん、素敵な5年間をありがとうございました。

コンテストに参加した時には、卒業研究で忙しい中でも手伝ってくれたり、優しい声をかけてくれたり、クラスの温かみを感じました。みんなが楽しそうにしている姿を見るだけでも、とても元気が湧きました。辛いテストや切羽詰まった製図課題、地獄の就活、みんなとの楽しい時間があつたからこそ乗り越えてこられたのだと気づきました。この貴重な時間を忘れることがないよう、これから先の人生を歩んでいこうと思います。

後輩の皆さんも、これから多くのことに挑戦していくと思います。仲間の存在を忘れず、お互い、楽しみながら頑張ってください。



5A 島 崎 満 月

15歳の時に親元を離れて米子にやってきました、ここで20歳まで過ごすって長すぎん？卒業なんて永遠にこないなあと思っていましたが、気がつくと文字通りあつという間に5年間で過ぎてしまいました。地獄みたいな製図提出前やベンチや卒研などきついイベントがあるごとに友情が深まっていったと感じています。

卒業は本当に悲しいですが、大好きな友人たちのおかげで色々な面で大きく成長できた5年間だったと感じています。そんなみんなと同じ学校で共に時間を過ごせた私は運がいいなあと思っています。お世話になった先生方、私が決めた道なら絶対に応援をしてくれた家族、そして大好きな友人に沢山の感謝をここで伝えさせていただきます。



専攻科長 藤 井 雄 三

修了生へ

専攻科修了、おめでとうございます。

専攻科修了とあわせて学士（工学）の学位を取得することになります。みなさんは、本科と合わせて7年間、工学と親しんできた経験があります。その経験を生かして、胸を張って、外の世界に飛び出してください。特にみなさんは新型コロナウイルス感染症の影響で入学してから、数ヶ月、学校に来ることもできず、3ヶ月遅れの入学式でした。今までない経験となりました。企業や大学院など進む道はさまざまですが、それらの経験が、新しい境遇でも、みなさんを助けてくれるでしょう。また、いろいろな経験を積んでください。いいことも悪いことも全て経験です。いつか、その経験が生きる 때가来ます。転んだことは、転ばないための道具や姿勢、環境を作り出す工学へと繋がります。失敗を恐れず、多くの経験をしてください。

専攻科での経験を生かして、よりよい社会を創造していく技術者・研究者となることを期待しています。

生産システム工学専攻2年 中 本 宙 希

「環境が変わらない」という謳い文句を掲げていた専攻科もこのコロナ禍で大きく変わりました。授業・就活・学会等でリモートを経験し、2年間の約3分の1は自分の部屋で過ごしてきました。一方で、例年通りの結果が求められ大変な日々が続きました。しかしながら、先生方や同級生の助けもあり無事に修了することができました。

社会に出た後もこの教訓を忘れず、様々なことに挑戦していきたいと思えます。

7年間お世話になりました。先生方・学校関係者の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

建築学専攻2年 河 本 幸 樹

入学前には想像ができないほど楽しい7年間でした。放送部に所属し、ドラマや映画制作に関わってきました。撮影期間はスケジュールに追われて大変でしたが、仲間と試行錯誤しながら取り組んだ日々は今思い返すと私の青春であったと思います。専攻科の2年間は、より専門的な授業と研究、就活など様々なことを取り組んだことで、大きく成長できた実感しています。7年間充実した高専生活を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

物質工学専攻2年 佐々木 眞 央

ちょうど2年前、新型コロナウイルスの流行が始まり、この2年間は人と関わるのがなかなか難しい時期でしたが、私にとっては非常に人に恵まれた2年間だったように感じます。授業や実験では多くの先生方にお世話になり、研究室や同好会を通して素敵な出会いも沢山ありました。特に、2年間を一緒に過ごしてくれた4人のクラスメイトには感謝してもしきれません。私に関わって下さった全ての皆さん、本当にありがとうございました。



令和3年度進路状況について

◆ 本 科

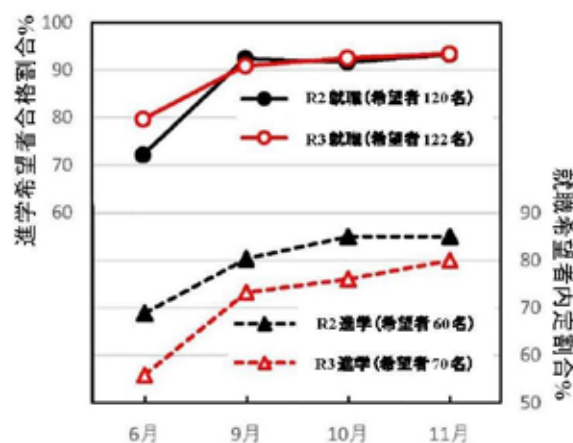
第5学年主任 電気電子部門 教授 宮 田 仁 志

本年度は、いわゆる新型コロナウイルス感染症の影響が昨年度よりは小さくなりましたが、面接試験は遠隔で実施するケースが多く、まだコロナ前の状態ではありませんでした。本年度の特徴は、進学希望者が増えたことです。特に機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科ではその傾向が強く、半分近い学生が進学を希望したクラスもありました。11月末現在の進学希望者は70名ですが、これは大学が不合格となった学生が就職に切り替えた後の数字です。当初は80名近くが進学希望でした。この要因は、コロナ禍というより、本年度のクラスの特長であったと見ております。また、就職活動では、地元希望者が増加しました。こちらについては、新型コロナウイルス感染者の多い県外よりも、山陰に残った方が安心という判断があったと思われる。

図は就職・進学希望者の進路決定割合（5学科合計）の月ごとの推移を昨年度と比較したものです。

図中の実線で示す就職希望者内定割合を見てみますと、6月の時点で昨年度より10%高い80%となっています。昨年度は4月から6月にかけて低い割合で推移していましたが、本年度はほぼ例年並みのスケジュールに戻ったことがわかります。9月以降は今年度も90%を超える割合に達しています。次に、図中の破線で示す進学希望者合格割合については、各月とも昨年度より10%前後低い割合となっています。これは、残念ながら第1志望に合格した学生がやや少なかったためだと思われます。例年より志願者が増え、予想以上に難化した大学も複数ありました。また、日程の遅い2次募集に出願した学生も少なくありませんでした。

昨年度に続いて世の中はコロナ禍でまだ厳しい状況です。しかしながら、この状況下でも逆に好調な業界もありますし、高専卒業生に対する評価の高さは変わりません。本科全体の求人数も5学科を合計すると約3千人で、昨年度からわずかに減ってはいるものの、本年度も高い求人倍率を維持しております。



就職・進学 進路決定者割合の月ごとの推移

◆ 専攻科

専攻科長 藤 井 雄 三

本年度も専攻科修了生に対する求人数は、好調に推移しています。生産システム工学専攻では就職希望者に対して125倍、物質工学専攻では82倍、建築学専攻では61倍の求人がありました。専攻科生の進路指導は、各部門の就職担当教員と特別研究指導教員が連携して対応しています。このため、就職希望者のほとんどが内定を得ることができています。一方、大学院への進学は生産システム工学専攻で6名、物質工学専攻で1名、建築学専攻で1名と、大幅に増えています。大学院修了後の進路は、開発・研究だけでなく、現場の技術者としても活躍しております。将来、開発・研究の分野に進むためには大学院進学は必須であり、現場で活躍する上でも大学院への進学を視野に入れた進路も検討が必要です。

新型コロナの影響が懸念されましたが、専攻科の就職活動は本科同様に昨年度と同様の状況です。専攻科は2年間ですが、就職活動は1年後に始まります。進路については早め早めの対応を心がけてください。将来の目標を見据えて、早い段階から進路に関する情報収集を行うことが重要です。

本科の求人・進路状況 (R4.1.31 現在)

学 科	卒業予定人数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	大学進学決定者数	本校専攻科進学決定者数	その他学校等進学決定者数
M	44	25	25	765	19	13	4	0
E	43	28	26	798	15	9	5	1
D	36	25	25	726	11	4	4	0
C	35	20	19	350	15	8	5	0
A	35	27	27	338	8	2	5	1
合計	193	125	122	2977	68	36	23	1

専攻科の求人・進路状況 (R4.1.31 現在)

専 攻	修了予定者数	就職希望者数	就職内定者数	本年度求人件数	進学希望者数	進学決定者数
生産システム工学	23	17	16	2117	6	6
物 質 工 学	5	4	4	327	1	1
建 築 学	6	5	5	303	1	1
合 計	34	26	25	2747	8	8

令和3年度資格試験合格者 (R4.2.21 現在)

資 格 名	取 得 者			
	取得者数	内 訳		
TOEIC (900点~)	2名	4年生 2名		
TOEIC (750~799点)	2名	4年生 1名	5年生 1名	
TOEIC (700~749点)	3名	3年生 1名	5年生 2名	
TOEIC (600~699点)	4名	3年生 1名	4年生 1名	5年生 2名
TOEIC (500~599点)	4名	4年生 3名	5年生 1名	
TOEIC (400~499点)	17名	2年生 1名	3年生 6名	4年生 8名 5年生 2名
TOEIC Bridge (63点~)	22名	2年生 22名		
技術英語検定 3級	1名	2年生 1名		
実用英語検定 2級	3名	2年生 1名	3年生 1名	4年生 1名
実用英語検定 準2級	1名	3年生 1名		
実用数学技能検定 準1級	3 E 和田 滯耶	5 M 林 凌生		
実用数学技能検定 準2級	1-3 野々内温生	2 M 岡 勇介		
危険物取扱者乙種	1-1 本城 拓人 4 C 亀居 紗楓	2 C 大家谷空美	2 C 中澤 花	2 C 藤原理央奈 3 C 小林 絢音 3 A 鐵本怜士真
第二種電気工事士	3 M 金川 柊斗	3 E 福井 琢真 3 A 鐵本怜士真		
第三種電気主任技術者	4 E 黒田 慎也			
I Tパスポート	3 E 三明紗弥香			
応用情報技術者	S 2 松本 航汰			
基本情報技術者	S 1 足立 凜	S 2 松本 航汰		
一級建築士	S 1 朝久 千宙			
二級建築士	S 1 持田 侑乃			
日商簿記 3級	S 1 岩崎 弘志			
アマチュア無線 3級	5 D 千葉 法晴	S 1 大野 航平		

「米子高専生のための進路研究セミナー」開催報告

キャリア支援室長 前原 勝樹

令和4年1月23日(日)に米子コンベンションセンター BiG SHiPにて開催を予定していた「米子高専生のための進路研究セミナー」について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況となったため中止といたしました。

令和3年度の求人倍率は本科で24倍、専攻科で100倍越えという企業の変わず高い求人意欲を受けて、単独高専の開催としては全国最大級となる、企業202ブース、大学および大学院21ブースの出展に、本校の本科3・4年生、専攻科1年生全員及び保護者、本科1・2年生の希望者に参加を呼びかけ、400名を超える学生が参加する予定で準備しておりました。日程が迫ってからの中止となり、ご迷惑をおかけいたしました。

進路研究セミナーに先立ち、1月6日(木)に3年生向け、1月7日(金)に4年生向けの進路研究セミナー事前ガイダンスを実施しました。注意事項等の説明の他、高専生の就職支援を行っているメディア総研の吉原氏より、進路を考えるにあたっての心構え、就職活動やインターンシップ(3年生)に向けた準備等について説明を受けました。

学生のみなさんにとっては、企業から説明を聞く機会を大幅に減らすこととなったことから、キャリア支援室では、この冬から春にかけて開催される就職セミナー・イベント(対面・オンライン)について、Teamsの「キャリア支援室学生連絡用」にてご案内いたしました。本科4年生、専攻科1年生には就職活動に向けて、本科3年生にはインターンシップや将来の就職活動に向けて、企業の説明を聞く機会として活用していただければと思います。

新型コロナウイルス感染症の今後について見通せない状況が続いておりますが、引き続き、キャリア支援室では、学生のみなさんのキャリア支援・就職支援に取り組んでまいります。



過去に対面開催した時の様子



事前ガイダンスの様子

高専祭(体育の部)

学生会 体育局副局长 3D 芝田 航太郎

今年度の体育祭は例年、球技大会として開催されるものでした。当日は雨で体育館競技のみの開催となってしまいました。高専祭を区切りとして4年生からある程度引継ぎを受けた僕たち3年生にとって、自分たちで計画した行事は初めての経験でした。しかし、みんなで話し合ったり、濱中先生や4年生のアドバイスを受けていたりしながら体育祭当日を迎えることができました。当日は情報の共有不足や確認不足はありましたが、きちんと運営できていたと思います。

僕は当日バスケットボールに出場しました。ベスト4まで勝ちあがることができました。準決勝では選手全員がクラスTシャツを着て試合しました。しかし、1年生のクラスに負けてしまいました。それでも、全員の勝ちたいという気持ちやクラスメートの応援などがあり楽しい時間を過ごすことができました。

スポーツなのでどうしても勝ち負けが出てしまいますが、それ以上に学校の行事ですので試合をしている選手だけではなく、周りで応援している人も結果の報告を待っている人も全員が楽しい時間を過ごせていたら僕はうれしく思います。これからも全員が楽しめるような学校行事を目指していきますのでご協力よろしくお願いします。



デザコン4連覇 構造デザイン部門 最優秀賞

4A 瀬崎大貴

昨年度のデザコンはオンライン開催でしたが、今年度はコロナが収まりつつあったので広島県呉市で現地開催されました。今大会は、静的載荷 50kg に耐えながら、5kg の鉄球を橋の上で転がすという動的載荷も混ざった、昨年とはまた違った難しさのある課題でした。始めた時は、部材はどのようにして頑丈に作れるのか、部材同士の接合はどのようにするのか、どうしたら 50kg に耐えられるのか、分からないことが多かったのですが、先生や先輩の助言をもらいつつ少しずつ理解するようになりました。最初にできた橋は、10kg に耐えるのがやっとで鉄球を通すまでいけるのかとても不安でした。しかし、課題点をメンバー間で話し合い、2個、3個と作ると比例するように 20kg、30kg と強くなっていき 8個でやっと完成形ができました。12月の大会に向けて5月ごろから半年以上の期間をかけてこの大会に取り組みました。夏休み中も毎日学校に出て作業を行い、課題の締め切りやテストなどもあり、忙しいことが多かったのですが、そんな頑張りもあり最優秀賞を取った瞬間は、達成感がとてもありました。今回のデザコンを通して、技術的な面もですが、長い期間やり切れた分、精神的にとても成長できたなと感じています。



載荷競技の様子



受賞メンバー

鳥取県学生コンテスト(建築)

5A 井土尚美

最初は授業課題として鳥取県コンペに取り組みました。4人でチームを組み、お互いに楽しく、効率的に課題に取り組むために、仕事の分割をして得意なことをしていました。正直なところ、コンペに通ることは目標にしておらず、各々してみたいことを建築の中に盛り込むことを楽しんでいました。

作品のコンセプトである「食でつながる地域コミュニティ」は食の中に、農家同士や、既に引退した農家、主婦や、子供たち、サイクリングなどでこの街を訪れた人など、様々な交流が生まれ、活動が起こることを目的としました。作品のタイトルは「食でつながる地域コミュニティ」をわかりやすく温かみも感じられるようなものにしたいと考え、「じーじとばーばのでーどころ」と名付けられました。

作品の中で特に力を入れたことは模型作成です。当初は1/50の大きさで作ろうと考えていたのですが、他のコンペを手伝っているうちに細部まで造り込みたいという気持ちが生まれ、1/30の大きさで作ることになりました。私は特に植物園の部分が気に入っています。紙粘土でカラフルな鉢を作り、そこに小さく切った模型用の植物を植え、それらをたくさん部屋の中に入ると、とても華やかになります。ぜひ、模型も見てもらえると嬉しいです。



プレゼンの様子



図面・模型と集合写真

令和3年度学生表彰

—優秀賞（在学中顕著な成績を修め、優秀な賞を複数回受賞した者）—

学業優秀

5 M 神原 拓実(日本機械学会畠山賞)	5 A 角田 元春(日本建築学会中国支部優秀卒業生)
5 E 小西 伶旺(電気・情報関連学会中国支部賞)	S 2 佐々木真央(日本化学会中国四国支部支部長賞)
5 D 森 正晴(電気・情報関連学会中国支部賞)	S 2 河本 幸樹(空気調和・衛生工学会学生賞)
5 C 山根 康平(日本化学会中国四国支部支部長賞)	

陸上競技部 第56回全国高等専門学校体育大会 陸上競技 女子4×100mリレー 3位 ほか

5 M 妹原 七虹

卓球部 平成30年度全国高等学校総合体育大会 卓球競技 男子シングルス 出場 ほか

5 E 柳原 武司

卓球部 第53・54回全国高等専門学校体育大会 卓球競技 男子団体 2位 ほか

5 D 森 正晴

柔道部 平成30・令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技 出場 ほか

5 E 大場 遙加

剣道部 第53・54回全国高等専門学校体育大会 剣道競技 女子団体 3位 ほか

5 C 倉敷 馨子

バドミントン部 第56回全国高等専門学校体育大会 バドミントン競技 男子シングルス 3位 ほか

5 C 山根 康平

放送部 第64回NHK杯全国高等学校放送コンテスト 創作テレビドラマ部門 3位 ほか

5 E 升田 乃愛

5 E 米原 凜

将棋同好会 第25回全国高等専門学校将棋大会 個人戦 1位 ほか

5 C 近藤 裕

デザコン 第16・17回全国高等専門学校デザインコンペティション 構造デザイン部門 最優秀賞

5 A 實松 義仁

—米子商工会議所会頭賞—

5 M 岩本 蓮	5 E 安達あずさ	5 D 河津 雄大	5 C 小坂 丞	5 A 本田 史弥
S 2 竹中 要	S 2 上原由梨奈	S 2 渡下宗太郎		

令和3年度スポーツ協会表彰

【米子市スポーツ協会】

2 C 土江亜依美(卓球部) スポーツ賞(個人)	2 M 幅田 健友(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)
2 A 中島 奈々(卓球部) スポーツ賞(個人)	2 D 川島 和流(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)
5 E 柳原 武司(卓球部) スポーツ賞(個人)	5 E 寺地 裕紀(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)
5 C 山根 康平(バドミントン部) スポーツ賞(個人)	5 E 長谷川颯介(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)
2 E 三浦 真歩(剣道部) スポーツ賞(個人)	4 E 矢田ほのか(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)
女子4×100mR(陸上競技部) スポーツ賞(団体)	5 M 妹原 七虹(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)
3 M 石田 怜央(卓球部) スポーツ奨励賞(個人)	3 D 橋本 恭輔(バドミントン部) スポーツ奨励賞(個人)
3 D 安田 倫(陸上競技部) スポーツ奨励賞(個人)	硬式野球部 スポーツ奨励賞(団体)

【湯梨浜町体育協会】

5 E 寺地 裕紀(陸上競技部) 成績優秀賞

【伯耆町教育委員会】

2 M 幅田 健友(陸上競技部) スポーツ優秀賞

高専GCON本戦出場報告

化学・バイオ部門 谷 藤 尚 貴

オンライン開催で行われた高専 GCON へ、3年物質工学科の女子学生2名、男子学生1名のチームが本戦に進出して、自分らが推進できるSDGs活動について発表を行いました。一次レポート審査で選ばれた12チームに絞られ、活動内容紹介動画と質疑応答で審査されました。本番当日は学校が急遽休校となったため、各メンバーの自宅・寮からの参加となり、緊張して十分な質疑対応ができずに入選とはなりませんでしたが、一年間取り組んできた卵殻リサイクル研究がどのようなSDGsの達成に役立てられるかについて考える良い機会になったと思います。



リサイクル材料開発の実験風景

各種大会成績一覧

- 第56回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技 R3.12.4～5 一関市総合体育館（ユードーム）
男子シングルス 3位 5C 山根 康平
- 第50回高等学校ラジオ作品コンクール R3.12.10 東海ラジオ放送本社
番組制作部門B 最優秀賞 3C 山崎 晴日、奥田 結衣 2A 坂口 明日香 2E 細山 晃平
2C 山下 舞子 2A 新井 紀香、藤原 愛理
- 高校生のためのeiga worldcup2021 R3.12.11 東京都美術館講堂 ※該当者多数のため苗字のみ掲載
自由部門 優秀作品賞他 2E 松本、野田、丸山、下山 1-2 中川
2E 河上、石原、谷森、細山、田原 2C 山下
1-1 井東、大倉 1-2 足立、景山、白岩、石塚 1-5 富谷、山辺
地域部門 優秀作品賞 1-1 井東、大倉 2E 田原、石原、河上、谷森、野田、松本 3C 奥田
- 全国高等学校剣道選抜大会鳥取県予選会 R3.12.11 鳥取県立武道館
女子団体 2位 2E 三浦 真歩 1-1 生田 花菜、三浦 和花 1-3 三浦 和奏
- 第56回全国高等専門学校体育大会剣道競技 R3.12.18～19 仙台高等専門学校
女子個人 2位 2E 三浦 真歩
- 第28回全国高等専門学校将棋大会 R4.1.6～8 みらい価値共創センター
個人戦 3位 5C 近藤 裕

国際交流

国際交流支援室副室長 鈴木 章子

★★ファイズ先生の講義★★

1年生全クラスにて本校卒業生でマレーシアのパハン大学で教鞭をとられているファイズ先生による英語での物理の授業を行いました。



1年1組でのオンライン授業の様子

★★夏季オンライン留学報告★★

(2A 永瀨 華望)

私以外の学生達は留学経験のある人や、なくてもすごく喋れる人しかいなくて初めは自信をなくしました。ですが、自分なりの英語で頑張って伝えることが出来たし、外国の講師の方もとても優しく最終日まで楽しくできました。自分の英語力がどのくらいか分かったし、留学に向けてもっと勉強しようという前向きな気持ちにもなれました。参加して良かったです。

リベラルアーツに関するKOSENフォーラムのセッションを主催

リベラルアーツセンター長 加藤 博和

KOSEN フォーラム（目的：教職員の資質や高専の教育・研究のポテンシャルの向上を目指すこと）が2021年12月13・14日にオンラインで開催され、本校は14日午後、オーガナイズドセッション「高専教育におけるリベラルアーツの具体化の方途—理念・カリキュラム・組織」を企画・実施しました。

理工系大学から知見を得ようと今年度、「教養教育研究院」を新設された東京理科大学の愼倉健院長に基調講演をお願いしました。高専からは①熊本高専リベラルアーツ系長の伊藤利明教授が「熊本キャンパスにおけるリベラルアーツ科目の実践報告」、②本校リベラルアーツセンター員の竹内彰継教授が「失敗学のすゝめ」をそれぞれ発表し、質疑や意見交換を行いました。

本校は「リベラルアーツセンター」を設置し高専教育におけるリベラルアーツの教育・研究を推進しております。このセッションを今後の活動や実践につなげていきたいと思っております。



オンラインで開催

高専女子フォーラムを終えて

4M 小暮 芳渚

昨年12月18日、2021年度高専女子フォーラム in 中国・四国がリモート開催されました。このイベントのコンセプトは高専の女子学生が自らの姿を発信するというものであり、米子高専からは以下11名の女子学生が参加して、日頃、高専での生活や研究活動、課外活動などに取り組む様子について中学生や企業・団体の方々に発表しました。

参加学生：5C 片尾水羽子、5C 小滝 咲、5C 田中佐和子、4M 小暮 芳渚、
4E 田栗 美羽、4C 石井まとい、
4A 高永 志帆、3C 高橋 凜、
3C 西口 杏梨、2C 大家谷空美、
2A 遠藤 陽花

研究などの成果よりも自分の姿にフォーカスを当てて発表するのは新鮮で、理系を志したきっかけや将来の目標など、自分を見つめ直すいい機会になったと感じています。また、リモート開催ではありましたが発表に対して質問を頂くことなどを通して校外の方々と近い距離でお話しすることもでき、貴重な経験となりました。



Teamsで発表中の画面

SDGsへの取り組みについて

校長補佐（総務）高 増 佳 子

今年度、総合工学科がスタートしたことを契機に、教育・研究の中でもSDGsをテーマに、学生・教職員で様々な取り組みをしています。

*本校は令和3年10月21日に「とっとりSDGsパートナー」に加盟しました。

*本校HPでは、各教員の教育・研究の紹介の中でSDGsの開発目標との関連性も紹介しています。

<https://www.yonago-k.ac.jp/center/recommends/seeds/>
(SDGsアクション1：環境と共生したものづくり教育 など)



また、よなごしんきんSDGs私募債による教室用の分別ゴミ箱28個を寄贈いただきました。(株)ワーパスの発行手数料の一部を活用したものです。



とっとりSDGsパートナー証



よなごしんきんSDGs私募債 教室用の分別ゴミ箱の寄贈



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第113号令和4年3月 発行
米子工業高等専門学校図書館

「ブックハンティング」を開催

2022年1月17日(月)放課後、今井書店錦町店に学生が出掛けて行って、「ブックハンティング」を実施しました。ブックハンティングは、米子高専図書館の利用者に「これはぜひ読んでほしい」と思う本を、学生の目線で選ぶこと。また、そうした本を配架することで、利用者の増加など活性化を促すために行ったものです。

当日は寒い日でしたが、参加した学生5名と教職員がそれぞれ、店内の書棚をいろいろ見て回りながら、思い思いの本を手にとったり、意中の本を探したりして、本と触れる温かな時間を過ごせました。

4M 岩崎 弘希

自分はよく小説を読むため、ブックハンティングでも小説を中心に本を探しました。最初の一冊は、あらかじめ決めていた本を選んだため時間はかかりませんでしたが、次からが大変でした。

自分が基本的に買う本はシリーズ物が多く、単行本を選ぶ経験が少なく、迷ってしまいました。かといって、シリーズ物は当たり外れが大きく、選ぶのをためらってしまいました。結局自分が選んだのは無難な推理小説となりました。もし次の機会があればもっと攻めた本を選びたいと思います。

3C 津村 紘華

今回ブックハンティングに参加させてもらって自分が選んだ本が学校の図書館で見られるとは思っていなかったのととてもうれしいです。実際に本屋さんに行って学校に置いてほしい本を選ぶのは楽しかったし、とても悩んでしまいました。その中でもおもしろい本がたくさん集まりました。図書委員だけでなくたくさんの人が参加し厳選した本をぜひ図書館に借りにきて読んでみてください。



2D 三井 朱寧

ブックハンティングに参加して、前から読みたかった本を選ぶことができ良かったです。店頭で実際に選ぶことで、新たな本に出会えたり、話題の本を知ることができたりしてとても楽しかったです。自分の選んだ本が図書館に並ぶことがとてもうれしく思います。また、他の方が選んだ本を読むことによって、普段読まないジャンルや作家さんを知ることができるのも楽しみです。



ブックハンティングをしている学生

卒業研究など多忙で参加できなかった図書委員からも後日、ブックハンティングでおすすめの本のタイトルと推薦文を提出してもらいました。合わせて50冊の本を購入することにしました。

その一部を列挙すると、『眠れなくなるほど面白い 図解 聖書』、『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』、『本当の自由を手に入れる お金の大学』などです。「SDGs」(持続可能な開発目標)に関する本もあります。

各自が選んだ本について紹介するポップや短文と一緒に、新年度、ブックハンティングのコーナーに並んでいると思いますので、皆さん見に来て、借りて読んでみてください。

「全国高等学校ビブリオバトル2021鳥取県大会」への出場報告

校内で「ビブリオバトル」を開催し(『としよぶらり』前号(第112号)を参照)、参加者の中から3D 加藤 崇くんが学校代表として鳥取県大会に出場しました。県大会は鳥取県教育委員会の主催で、2021年12月12日(日)に倉吉体育文化会館で県内13校の代表者が参加して、予選・決勝が行われました。

3D 加藤 崇

県大会では、校内予選で紹介した『源氏物語』から、額賀滯さんの『沖晴くんの涙を殺して』という小説に本を変更してプレゼンをしました。せっかくなので、少し内容を紹介したいと思います。



この作品は、今年で発生から11年経った東日本大震災がベースにあります。主人公の沖晴は死神と取引をして、津波から生還する代わりに喜び以外の感情を奪われた少年です。この小説は、震災から9年経ったときに、唐突に帰ってき始めた「悲しみ、怒り、恐れ、嫌悪」の4つの感情に戸惑う沖晴と、癌を患い余命1年を宣告された女性、踊場京香が織りなす、喪失と成長の物語となっています。

本番では予選のトップバッターとなりましたが、想像よりも緊張せず、額賀さんの作品のどこか救いがなく残酷でありながら、美しい世界観について語りきれたと思います。予選敗退という結果でしたが、質疑応答の時間も含めて自分的には満点のプレゼンができました。

県大会では、結構勝ちを意識してプレゼンする人が多い印象でした。しかし張り詰めた雰囲気はまったくなく、予選が終わった後は他のバトラーの方々とそれぞれの紹介した本について語り合うことができ、本当に楽しかったです。バトラーの方々はあまりコミュニケーションが得意でない人が多いようでしたが、本のことになると饒舌になり、話し始めるとなかなか終わらせませんでした。私も自分がこの本のどこが好きだと思ったのかについて真剣に考えることで、より紹介した本の面白さに気づくことができました。特にどうすれば勝てるというコツがあるわけでもないようなので、ビブリオバトルに出たことがある人も、ない人も、勝ち負けを気にせず気軽に参加してほしいと思います。



プレゼン(予選)の様子

最後に、額賀さんの作品はどれもどこまでも現実的な世界が、美しい文章で紡がれた傑作ばかりです。中でも今回紹介させていただいた『沖晴くんの涙を殺して』は、今私たちが生きているありふれた日常が、どれほど愛おしいものであるかを気付かせてくれる作品です。

プレゼンの最後を私はこんな言葉で締めくくりました。「この世界を悲しみとともに生きる人に。この世界に怒りながら生きている人に。この世界を恐れ、嫌悪している人に。そして、この世界を喜びとともに生きるあなたに。私はこの本をおすすめします。」きっとあなたも額賀作品の虜となるはずです。ぜひ読んでみてください。



出場者の集合写真

新コーナーの紹介 小説からヤングアダルトまで

学術情報係 小田 千晶

今年度より、「米子高専図書館ベストセレクション」と「高専図書館の片隅で」という2つの新コーナーを設けました。コンセプトは【知らないなんてもったいない!】です。

図書館には、多種多様な本があるので、どうしても「良い本なのに手に取ってもらえない」という本は出てきてしまいます。そこで、少しでも多くの学生にそんな本と出会ってもらおうと思い、各系統の本棚から選書を行いました。

その結果、今までばらばらに配架されていた新書や、写真集をそれぞれまとめたことで、より多くの人の目に触れる機会が増えました。また、近くに似たジャンルの本を配置したので、一緒に借りていく学生の姿も見受けられるようになりました。

図書館にはまだまだたくさんの本が眠っています。ぜひ色々な本を手にとってみてくださいね!



新コーナー

「米子高専図書館ベストセレクション」

文庫および小説・海外の翻訳小説・新書などを集めています。

例えばこんな本があります。

『六番目の小夜子』 著：恩田陸

とある県立高校で続く謎のゲーム、「サヨコ」。始まりの合図は、赤い花。そして同じ名前の転校生がやってくる。偶然か必然か。六番目の今年、何かが変わる予感がする……。

「高専図書館の片隅で」

ノンフィクション・建築および美術写真集・自己啓発書などを集めています。

例えばこんな本があります。

『のこされた動物たち 福島第一原発 20 キロ圏内の記録』 著：太田康介

3.11 発生後、人間は原発から離れた地域へ避難するよう告げられました。けれど、家族の一員であった動物たちは、一緒に行くことができませんでした。あの未曾有の大災害から11年。もう一度、考えてみませんか？

『としょぶらり』のバックナンバー

今年度、図書館の広報誌『としょぶらり』（『彦名通信』に収録）を第111号（6月）、第112号（12月）、第113号（3月、本号）と3回発行しました。これまでの『としょぶらり』から少し内容を変えてみたところもありますが、いかがでしたでしょうか。

コロナ禍の中、図書館の利用者数や図書の貸出冊数は減少しています。デジタル化など社会情勢が変化中、図書館の役割やあり方も見直しや再考が必要とっております。

これまで発行されてきた『としょぶらり』は、平成16年6月の第77号以降を、図書館のホームページに掲載していますので、ご覧いただければと思います。



日本海新聞「新聞感想文コンクール」で入賞

「第7回 日本海新聞・児童生徒新聞感想文コンクール」（主催：新日本海新聞社、日本海新聞を発展させる会、後援：鳥取県教育委員会）で、3C 細田めい子さんが「高校生の部」の優良賞を受賞しました。

2021年6月24日の日本海新聞の「『世界標準』ほど遠く」—最高裁の判断が変わらなかった—という記事を読んで、日本の夫婦同姓制度について考えた内容で、「夫婦別姓が認められるためには、裁判の中に新しい風を入れることが必要」、夫婦同姓の問題だけでなく「世界標準で考えて変化させていくことがこれからの社会では大切」と述べています。

3C 細田 めい子

今回の新聞感想文コンクールでこんな賞をもらえるとは思ってなくて、とても驚きました。私が書いたのは最初に見た新聞に載っていた、夫婦別姓に関するものです。ニュースでチラッと聞いたことがある話題だったので見てみると、裁判では夫婦別姓を認めないのは違憲ではないという判決が出されたというもので、疑問に思ったので気になってこれについて書こうと決めました。

詳しく読んでみると、そもそも裁判官に女性が少なかったり高齢だったりして、それでは公正というか現代の価値観に合った判断が出来ないのではないかと感じて、それについてまとめました。家では新聞を取っていないしあまり見る機会がなかったのですが、新しい発見や思うところがあって、新聞を見るのも大事ななあと思えたいい機会でした。

コンクールは、次代を担う児童生徒が新聞に親しむとともに、記事の感想文を書くことで読解力や表現力、社会への関心を高めてもらうことがねらい。高校生の部には718点の応募がありました。優秀学校賞に米子高専が選ばれています。



新聞を学校や家庭での学習に活用することで、社会への関心を高め、自分ごととして考えを深めることにつながります。学校などで新聞を教材として活用する活動を「NIE」(Newspaper in Education)と呼んでいます。1930年代にアメリカで始まったものです。

図書館には、地元の日本海新聞、山陰中央新報、全国紙の読売、朝日、毎日、日本経済(日経)の各新聞があります。読んで/読み比べてみませんか? おもしろい記事や役立つ記事があると思います。

図書館の業務・活動等

- 12月12日(日) 全国高等学校ビブリオバトル2021鳥取県大会(倉吉体育文化会館)
- 12月20日(月) 図書委員会(第4回)
- 1月12日(水) 図書部会(第6回)
- 1月17日(月) ブックハンティング
- 1月18日(火) ~2月12日(土) 臨時休館(臨時休校・遠隔授業等に伴うもの)
- 2月21日(月) 図書部会(第7回)
- 2月25日(金) 図書館運営委員会(第3回)

卒業生は今
vol.26



三田村 拓也 (みたむら たくや) (機械工学科 46 期卒業生)

<略歴>

サントリープロダクツ (株) 天然水奥大山ブナの森工場 勤務
2014年3月 機械工学科 卒業
同年 4月 サントリープロダクツ (株) 天然水奥大山ブナの森工場 入社

<業務内容>

入社後、製造部門に配属された際は、包装工程という所で現場オペレーターを担当させて頂きました。主にラベラー（ペットボトルのラベルを巻く機械）、ケーサー（ペットボトルを箱詰めする機械）といった設備を担当し、設備が問題なく稼働していることの確認や、トラブルが発生した際に修理対応したり、定期的なメンテナンスをしたりしていました。

2017年に事務部門に配属してからは、工場の経理担当として、メーカー様への代金お支払いの手続きから月次での工場の経営状況の確認、工場長や工場幹部にその報告を行ったり改善を促したりと、お金に関わる管理業務（コストマネジメント）全般を担当しています。

<仕事の楽しい所>

「奥大山の天然水」をはじめとした天然水ブランドの製造に関わっていること自体です！プライベートでも周りでも奥大山工場で製造している製品をご飲用頂いている所を見ることがありますが、「それ、私たちが製造してるんですよ〜！」と心の中で喜んでいきます（笑）

<先輩たちへのアドバイス>

個人的にアルバイトなどを経験することをお勧めします。社会人になると職種にもよりますが、人との関わりがぐっと広がります。時にはお客様とやり取りすることもあるので、社会人としての言葉遣いや姿勢態度を自然と身に着けることができます。また、アルバイト（特に接客のある仕事）をしておくことはとても有意義であるかと思います。



長谷川 貴之 (はせがわ たかゆき) (機械工学科 42 期卒業生)

<略歴>

王子製紙 (株) 米子工場 勤務
2010年3月 機械工学科 卒業
2014年9月 王子製紙 (株) 米子工場へ入社 (転職)

<現在の仕事の内容は？>

現在は紙を作る機械の保全業務を行っています。機械は人間と違って「疲れた」とか「もうしんどい」という言葉を発しません。そのため、こまめに点検をしないと突然壊れてしまいます。ちょっとした変化に気づき、最善の対応をしてあげる、機械保全とは言わば機械のお医者さんのような位置にいる仕事です。

<仕事のやりがいとは？>

かたちあるものいつかは必ず壊れます。「どうしたら壊れ難くなるのだろうか？」「どういう工夫をしたら寿命を延ばすことができるだろうか？」と日々試行錯誤して、今よりも良い状態に直せた時にやりがいと達成感を感じます。そんな仕事を一緒にこなす仲間は、皆プロフェッショナル集団なので日々新しい発見や刺激をもらえる楽しい職場です。

<先輩へのアドバイスやメッセージ>

高専時代にもっと勉強をしておけば良かったと社会人になってから思うことが多々あります。学生の内にいろいろなことに興味を持ち、挑戦して知識の幅を広げて下さい。勉強してきたことは無駄になることはありません。



※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…教養教育科、S…専攻科
例えば、「5M」は機械工学科5年生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009
ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ 印刷：東京印刷株式会社

4月より、通学する学生のみなさんの負担を軽減し学びの充実を図るため、以下のとおり変更となります。

1) 授業開始時刻を 8:50 → 8:55 に変更します！

昼休憩が 50 分 → 45 分に 5 分短縮となります。午後からの授業の終了時刻に変更はありません。
(1.2 時限 8:55~10:25、3.4 時限 10:35~12:05、昼休憩 12:05~12:50)

2) バスダイヤが便利になりました！

遠方（自宅等）からの通学が便利になります♪♪

米子駅～米子高専間のバスダイヤを以下のとおり変更していただき、JR との接続が改善しましたので、奮ってご利用ください。

【登校時】

J R			バス		
路線	種別	米子駅 到着時刻	米子駅 出発時刻	高専 到着時刻	路線
山陰本線（松江方面→米子駅）	普通	8:01	8:18	8:41	内浜線 （各停便）
山陰本線（倉吉方面→米子駅）	普通	8:13			
伯備線（根雨方面→米子駅）	普通	8:20	8:30	8:45	高専線 （直行便）
山陰本線（倉吉方面→米子駅）	快速	8:25			

※参考：JR 境線 米子駅 7:48 発 → 河崎口駅 8:02 着、弓ヶ浜駅 8:06 着（両駅とも高専まで約 2km）

米子駅バス停
4 番乗り場から
乗車ください

到着は
高専バス停
（正門付近）です



中彦名バス停から
本校正門付近までは
約 800m で
徒歩 10 分程度です

高専バス停
（正門付近）は
従来通りです



【下校時】

高専授業 終了時刻		バス			J R				
		出発 停留所	出発 時刻	米子駅 到着 時刻	米子駅 出発 時刻	路線	種別		
6 限終了	14:20	高専	14:30	14:56	15:48	山陰本線（松江方面行）	普通		
					15:59	山陰本線（倉吉方面行）	普通		
					16:08	伯備線（根雨方面行）	普通		
7 限終了	15:20	中彦名	15:47	16:14	16:27	山陰本線（松江方面行）	普通		
					16:46	伯備線（根雨方面行）	普通		
8 限終了	16:00	高専	16:10	16:36	16:51	山陰本線（倉吉方面行）	普通		
					17:08	山陰本線（松江方面行）	普通		
					17:45	山陰本線（松江方面行）	普通		
					18:00	山陰本線（倉吉方面行）	普通		
					18:23	伯備線（根雨方面行）	普通		
					18:29	山陰本線（松江方面行）	普通		
放課後		中彦名	16:43	17:08	19:05	山陰本線（倉吉方面行）	普通		
					19:06	山陰本線（松江方面行）	普通		
					19:36	伯備線（根雨方面行）	普通		
					18:26	18:51	19:05	山陰本線（倉吉方面行）	普通
					19:06		山陰本線（松江方面行）	普通	

3) 通学費の補助は、JR とバスの合算で計算されます。この機会に通学方法の見直しを！

高専 3 年次までは、通学費の補助を行っている自治体がありますので、お住まいの地域の自治体へ確認してみてください。

代表的なものとして、鳥取県(7,000 円)と松江市(10,000 円)では、
()内の金額を超える場合は、その金額が還付されます。

- ・鳥取県高校生通学費助成事業

<https://www.pref.tottori.lg.jp/290480.htm>

- ・松江市学生通学支援補助制度

<https://www1.city.matsue.shimane.jp/sumai/koutsu/tsuugakuhojyonooshirase/>

鳥取県

松江市



【日ノ丸自動車 特割定期券（ステップ）通学用定期（米子駅～米子高専）】

1ヶ月券：8,210 円、3ヶ月券：23,390 円（月額 7,797 円）、6ヶ月券：44,310 円（月額 7,385 円）

詳細は、以下の日ノ丸バスの各定期券販売所へお問い合わせください。

米子：0859-32-2121 倉吉：0858-26-4111 鳥取：0857-22-5155